校訓：かしこく【慧】　あたたかく【恕】　たくましく【忍】

山桜

城里町立七会小学校　学校だより
令和5年10月6日　第 6 号
城里町塩子2682　TEL0296-88-2620
Mail:512713@sch.ibk.ed.jp

令和５年度前期が終了しました。

今年度から、２学期制になり、前期の終業式を本日迎えました。前期の通信票も本日子ども達に手渡しました。前期と後期の間が３日間ですが、前期をふり返って、後期にがんばることをしっかりと考えてきてほしいです。

前きがんばったこと
二年

ぼくは、四月に学しゅうと生活めんで一つずつ目ひょうをたてました。まず、学しゅうでは、とくいの算数の計算を早くとけるようすることでした。早く計算するために、ドリルをやる時は、数字の書きまちがいがないように、しゅう中してとり組みました。ぼくは、頭で計算するとよく間ちがえるので、めんどうがらずにひっ算で計算するようにしました。ひっ算でやるようにしてから、早く正しくできるようになったので、友だちや先生からたくさんほめられました。後きは、かけ算をべん教するので、すら言えるようにカードをつかって、いっしょうけんめいあん記したいです。

つぎに、生活めんで立てた目ひょうは、一年生に学校のことやべん教をやさしく教えてあげることでした。一年生とは、生活科や体いくなどでいっしょにべん教することがあります。その時、ぼくたち二年生が手本を見せることが多いので、きとんとできるように先生の話をよく聞いてやれるようにしました。また、生活科の「虫のおせ話のし方」を教える学しゅうでは、一年生が分かりやすいように、虫のすきなはの画ぞうをさがして見せたり、どんなところでつかまえられるかをくわしくせつ明したりしました。一年生からのしつ問にもちゃんと答えられたのです。きたいです。

前期をふり返って
四年

私は、前期にがんばったことが二つ、あまりよくできなかったことが一つあります。

できたことの一つめは、算数のじゅ業です。特に、折れ線グラフの学習では、友達や先生に分かりやすく、折れ線グラフに表すことができました。これからも、じゅ業に集中して、友達に分かりやすく表せるようにしたいです。

がんばったことの二つめは、遠足のはん長です。遠足では、一番上の学年だったので、はん長として、一・二・三年生をまとめて、楽しく活動することができました。五・六年生に向けて、下級生のお世話をこれからもがんばりたいです。

しかし、あまりよくできなかったこともあります。それは、音読がすらすら読めなかったことです。後期は、読めない漢字をへらして、つっかからないように音読できるようにします。

後期は、前期よりもできることをふやせるようにしていきたいです。

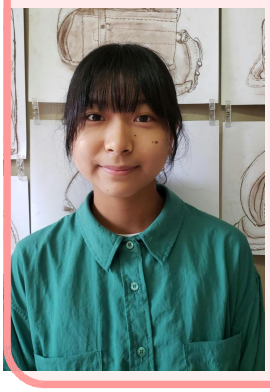
前期の反省
六年

私は前期に努力したことが二つ、よかったと思うことが一つ、後期に努力したいことが一つあります。

まず、前期に努力したことの一つめは、自主学習です。漢字の小テストのために練習したり、まちがえたところを何度も自主学習ノートに書いたりしておぼえられるようにしました。

二つめは、十一月にある音楽のつどいに向けたリコーダーの練習です。先生に教わったポイントを頭に入れて演奏したり、暗譜が少しでもできるようにしたり努力しました。

次に、よかったと思うことは、宿泊学習のことです。宿泊学習では、水戸駅の班別活動やキャンプファイヤーのスタンツなど、班の人たちと協力して行うことがたくさんあり、副班長として、班長といっしょにみんなをまとめ、楽しく活動することができました。

最後に、後期に努力したいことは、小学校最後の運動会です。ダンスやソーラン節を下の学年にきちんと教えられるようにしたいです。特に努力したいのは、ソーラン節をおどることです。この六年間の中で一番よくおどれるようにしたいです。

この前期の反省を生かして、後期では、よりよく生活できるように努力していきます。